

『主よ。そのとおりです！』 マタイの福音書15章21～28節 2018.11.4 鹿島重男牧師礼拝説教より

『主よ。そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパンくずはいただきます。』 マタイの福音書 15 章 27 節
イエスが絶賛された信仰とは？カナン人の女は、イエスの許に叫び声をあげてやって来て、御前にひれ伏し、娘の癒しを必死に願った。どこに行ってもダメだった！あなたなら絶対に助けられると！

❶3つの壁(23 節)…❶彼女の求めに対して最初イエスは、一言も答えられなかった。私たちが祈り続けるのに答えがないばかりか、ますます試練続きともなれば、「なぜ？どうして？」と失望する。しかしそのマイナスの一点を見つめて落胆せず、万事を益とされる御手の中にある人生全体を、「線」で捉えることが大切。❷次に主は、「救いには順序があり、わたしはまずイスラエルの失われた羊を救うために来た」と告げる。ここまで言われれば諦め、引き下がるのが普通だが、彼女はひれ伏して「助けてください」と、どこまでも食い下がった！❸しかしイエスは冷たく言い放つ…「子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくない(26 節)」。子どもたちとは「イスラエルの人」、パンとは「神の恵み・祝福」、子犬とは「異邦人…そして私たち日本人」。神の恵みを3回も拒絶されたにも関わらず彼女は、へこたれず諦めなかった。

❷イエスが絶賛される信仰(27-28 節)…彼女の信仰の中心にあったのは、「他に救いはない。必ず神は答えてくださる！」という思いだった。「いかなる時にも神の御前に心を注ぎ出せ(詩篇 62:8)」とあるが、何があっても主から離れない信仰！彼女の信仰には3つの段階がある！❶「主よ。そのとおりです」。自分にとってどんなに不本意でも、まず主の言われたことを、そのまま聴く！御言葉に従うことは時に苦しく辛い選択を迫られるが、「アーメン」と受け止める時、驚くべき道が開かれる。❷「小犬でも、食卓から落ちるパンくずはいただきます」！神よ、あなたの救いの恵みはイスラエルを満たすのがやっとなではなく、全ての人を潤すほど豊かに溢れ、こぼれ出て全世界を喜びと感謝で満たすものですよと告白！❸その絶賛の信仰の結果、娘は癒された！

★私たちが罪赦され、救われ、神の恵みに与れたのは、ただ神の一方的な憐れみだった！彼女がそうであったように、私たちはそのこぼれ出て注がれる神の恵みにすがりつくのみ！その結果、神の御業を見る！「今あるは神の恵み」！その恵みを独り占めせず、恵みも救いも知らない多くの人たちに、「イエス様は素晴らしい」と伝える者でありたい！